



元倉眞琴 《熊本県宮田花巻紀平団地(2000年代前半)》(水彩) 個人蔵

第35回九州産業大学美術館所蔵品十展

元倉眞琴 集まって住む



集
い
を
デ
ザ
イ
ン
し
た
建
築
家

建築家 元倉眞琴は、空間・建築・都市と広範なフィールドで活動し、多くの作品を発表してきました。

彼の建築観や興味は、そこにいる人々の日常の観察に根ざし、それをもとに空間へと具現化していくことにあります。その範囲は戸建ての住宅から始まり、集合住宅や都市の中の建築、そして人々のありかた＝「集まって住む」へと展開しています。元倉眞琴らしい細部から人々のアクティビティまでも一貫した端正で楽しい空間が、代表的な作品である熊本県宮電蛇平団地や、山形県の朝日町エコミュージアムコアセンター創造館などに随所に織り込まれています。

彼は同時に東京藝術大学や東北芸術工科大学での教育者としての一面も持ち合わせています。研究室の学生とともにまちに出て、地域住民へ提案するなどの教育研究活動を行いながら、東京藝術大学ではキャンパス計画についても積極的に取り組んでいました。

このように小さなスケールから大きなスケールまでを実践してきた元倉眞琴の思考と軌跡は、本展覧会の手描きの図面や日常を描いた様々なスケッチを通じて感じることができます。そして、これからの時代の「集まって住む」、ひいては「建築とは何か」という問いかけに対して改めて考えるきっかけとなれば幸いです。

元倉眞琴展実行委員会



元倉眞琴 《使用のメガネ(2006)》(水彩) 個人蔵
2025. Feb. 19

2025 4.1 tue »» 5.25 sun 10:00-17:00
九州産業大学美術館

休館日/月曜日・4月29日(火)・5月3日(土)~6日(火)
入館料/一般200円・大学生・専門学校生100円・高校生以下450円以上・本学学生・教職員無料
福岡ミュージアムウィーク2025期間中(5/17~25)は無料



街、人、集、い、の、な、が、り

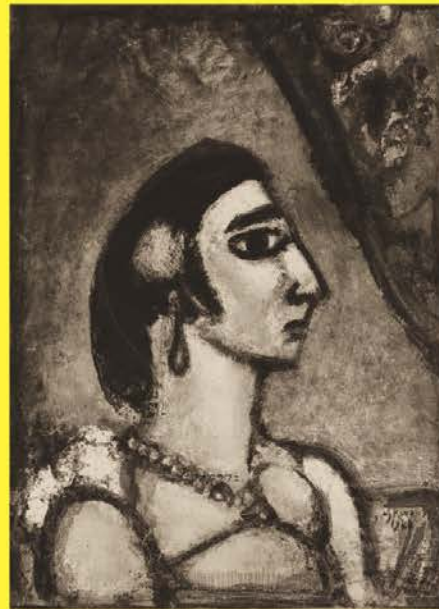


ウジェーヌ・アジエ 《サンメダール通り(1899-1900)》写真

パリ、 ガルオー、 ザツキン。 ボヘミアンたちの街

第35回九州産業大学美術館所蔵品十展

パリに集った芸術家



ジョルジュ・ルオー 《黒の婦人(1926)》(複製)



ウジェーヌ・アジエ 《キャバレー「おきなごい」エリス、フルドゥ通りの角(1908)》写真



ジャン・ザツキン 《アヴァンポールの家(複製)(1903)》(複製)

2025 4.1 tue »» 5.25 sun 10:00-17:00
九州産業大学美術館

休館日/月曜日・4月29日(火)・5月3日(土)~6日(火)
入館料/一般200円・大学生・専門学校生100円・高校生以下450円以上・本学学生・教職員無料
福岡ミュージアムウィーク2025期間中(5/17~25)は無料



© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025. B0846

